

『いま、ここからはじめる』

作　なかもむら　としこ

登場人物

エゴ 人間

カゲ エゴの心の擬人化

ヒカリ エゴの心の擬人化

セケン 世間の擬人化

舞台暗転に太鼓の音

ドン

舞台明るくなる。舞台中央に出演者全員が隊を組んで後ろ向きでいる。

ドン

出演者全員それぞれの決めポーズ。

ドン

暗転

声

心臓は動いている。

心は動いている

流れに逆らうな

一瞬は永遠だ。

舞台明るくなる

エゴ、下手からぶらつきながら登場。舞台真ん中で倒れる。

（舞台後方にまばゆい光。（もしくは扉の枠）

下手からカゲ、ヒカリ行き絶え絶えに現れる。

カゲ 近いな。（後方の光をみながら）

ヒカリ 開いてるのか？

カゲ 生きていたくないんだらう。

ヒカリ そんなことない。

カゲ 行こう。

ヒカリ だめ！
カゲ 死の扉の向こうへいくんだ。

光向かうカゲをヒカリ必死に押しとどめる。
セケン、上手から登場。エゴの横に立つ。

ヒカリ あれ？(セケンを指さしながら)
カゲ 誰か横に立ってる？

ヒカリ あれ！セケンじゃない？

カゲ セケンだ。普通をふりかざし、多数意見を述べたかと思うと、
出どころ不明、だが、クールな少数意見に賛同するのがカッコイ
いと思ってるヤツ。

ヒカリ まるで、カゲとおんなじだ。

カゲ ボクはボクの味方だ。

ヒカリ なら、死の扉に近づくな。

セケン、エゴの頭に回り込む。

セケン 何してる。

ヒカリ、カゲ。セケンの様子をうかがう。

セケン いい加減にしろ。

甘えてるんじゃない。

エゴ、耳をおおい小さく丸くなる。

セケン 回りに心配かけて平気なのか？

よく考えろ。

セケン、言い捨てて上手に退場。

セケンの退場した方をみながらエゴの左右に座るヒカリとカゲ。

カゲ セケンはあいかわらずきつい。

ヒカリ 気にかけてくれる。

カゲ 言わなくてもいいことだろ。

エゴ、大きくうなだれ両手をで顔を覆つ。

エゴ 終わった。

カゲ だよな。

エゴ 本当に終わりだ。

カゲ 絶望的だろ。

ヒカリ 絶望的ってなに？

カゲ だから、終わりってこと。

エゴ 何もかも無意味だ。

カゲ そうだろ。全部諦めちやえ。

ヒカリ なんぞ？

カゲ 全部あきらめたら、楽になれる。

ヒカル 楽ってなに？

カゲ 何もしなくなっっていってこと。

ヒカル 何も？

カゲ 絶望が最終地点だ。

ヒカル ここから先はないんだね。

カゲ 最終地点だからな。

ヒカリ じゃ、ここが始まりだ。

カゲ 最終地点だ！

舞台後方の光消えていく。(もしくは扉の枠消える)

カゲ、消えていく光に手を伸ばす。

カゲ 扉が消える。

ヒカリ立ち上がって、エゴの後ろにたつ。

ヒカリ 最終地点でもどこでも、ここからはじめればいい。

セケン、上手から登場。エゴに圧をかける。

エゴ、下手、舞台裾近くにとぼとぼ歩いていく。

縮こまるように肩をすくめ、舞台の隅に立つ

カゲ、セケンとエゴの間にたつ。

セケン なんか、やれることあるだろ。

ヒカリ あるある。

カゲ 無駄無駄。

エゴ 何をやってもダメなんだ。

カゲ そうそう。その通り。

セケン 早く立ち直れ。

カゲ 立つには力がある。

セケン 現実を見ろ。

カゲ 見たら、動けない。

セケン 自分に自信を持って。

カゲ 持てないからここにこうしている。

セケン 自分はダメと思っている暇はないぞ。

カゲ ダメだって思うしかない。

セケン 逃げてたら、何も変わらない。

カゲ 何も考えずに逃げちゃえ。

ヒカリ 逃げてもいいと思う。

カゲ ええんかい！？(はっとしてヒカリをみながら)

ヒカリ なんで、関西弁！？

ヒカリ、カゲとセケンの方をみながらエゴの手をひばって舞台中央に少し動く。カゲ、セケン、エゴに話かけながら近づいていく。

セケン 自分でやれること考えろよ

カゲ 考えても無駄。

ヒカリ 無駄ってなんだ。

カゲ 必要ないってことだ。

ヒカリ そんなもん、世の中じゃない。

セケン 何もしないヤツなんていない

カゲ 何もできないヤツはいる。
ヒカリ いいじゃん。できなくても。
カゲ ダメだろ。
セケン 何かしろよ、回りをみてみる。
カゲ 他人と比べろ
セケン みんなちゃんとやってる。
カゲ みんなだ。
セケン なんて、おんなじことができない
カゲ みんなは、できてる。
エゴ みんなみたいにはできない。
ヒカリ みんなってだれ？
カゲ みんなは、みんなだ。
セケン みんなは先にどんどん進んでいるぞ
カゲ 追いつけない。
セケン 立ち止まるんじゃない。
カゲ あきらめちゃえ。楽になるぞ。
ヒカリ また、楽？
エゴ 動けないんだ。
カゲ みんなとおまえは違うからな。
ヒカリ そう。違うんだ。
カゲ おまえはみんなじゃない
ヒカリ みんなじゃない
カゲ だから

カゲ、ヒカリ同時に

ヒカリ やれる

カゲ やれない

顔を見合わせるヤミ、ヒカリ

カゲ 違うから

カゲ ヒカリ同時に

ヒカリ やれる

カゲ やれない

顔を見合わせるカゲ、ヒカリ

カゲ やれないだろ

ヒカリ やれるでしょ。

顔を突き合わせ、言い合う、カゲとヒカリ。

セケン、エゴに近づいて話しかける

セケン 何かを成し遂げたヤツはいる。

カゲ 成功したヤツ。

セケン、エゴの肩を抱く。遠くを指さす。

セケン 幸せそうだとろ

エゴ 彼は。

カゲ、ヒカリ(同時に) 違う。

カゲ、ヒカリから離れてエゴに近づく

カゲ 羨ましいよな。

エゴ 羨ましい。

セケン 称賛を浴びる。

カゲ 注目を集める。

セケン 喝采を浴びる。

カゲ 人気を集める。

セケン カゲ同時に

セケン 羨望の的だ。

カゲ 羨望の的だ。

ヒカリ それ、いいこと？

エゴ 羨ましい

セケン 羨ましい。

カゲ ズルくないか？

セケン 彼だけずるい。

カゲ 嫉妬だ。

エゴ 確かにズルい。

カゲ 引きずり降ろせ。

セケン 足を引っ張る。

カゲ 嫉妬か。

セケン 嫉妬は膨張する

カゲ 嫉妬は力になる！

ヒカリ 嫉妬は力になる？

エゴ なんて、彼ばかり幸運なんだ？

ヒカリ、カゲ小躍りしながら互いを見る。

カゲ いいな。

ヒカリ いいな。

カゲ いいなは下をむく

ヒカリ いいなは前をむく

カゲ 下

ヒカリ 前

カゲ 下を向くんだ。

ヒカリ 前を向くんだ。

カゲ、ヒカリ、エゴを引っ張りあいながら、言い合いして下手に退場。
セケン、追いかけて下手に退場。

太鼓の音

ドン

エゴ下手から足早に登場。

カゲ、ヒカリ、あわてた風でエゴについて足早に登場。

急に止まるエゴにぶつかるカゲ、ヒカリ。

続いて下手から登場したセケン。

急にエゴが力をこめてセケンに訴える。

エゴ 許せない。

カゲ、ヒカリ顔を見合わせる

セケン ヤツは許せない。

すかさずカゲがセケンに同調する。

カゲ 許せない。

セケン いやなヤツ。

カゲ 憎いヤツ。

セケン 敵だな。

エゴ 敵？

あわてて、ヒカリ、エゴに語りかける

ヒカリ 本当に敵？

カゲ 敵だろ。

セケン 味方ではない。

カゲ 自分にとっては敵だ。

セケン 敵に奪われるな。

カゲ 大事なものを奪われるな。

ヒカリ 敵意は自分を見失わせる。

カゲ 敵を倒せ。

エゴ、いつの間にかこぶしを振り上げている。

ヒカリ 激怒に手をかけ絶望から抜け出す。

カゲ、セケン、エゴの傍にたつ

カゲ 誰のせいでこうなった？

エゴ ヤツのせいだ。

カゲ 激しい怒りは復讐へと向かう。

セケン ヤツが追い詰めたのか

カゲ 回り中敵にしたのもヤツのせいだ。

エゴ 絶対見返してやる。

カゲ そうだ。仕返ししてもいいはずだ。

ヒカリ それは、復讐だ。

セケン 復讐は認められない。(カッコつけながら)

カゲ セケンが復讐を認めない？

セケン エネルギーの無駄だ。

カゲ むだじゃない。復讐の炎を燃やせ。

カゲ、半狂乱のようにエゴの周りをぐるぐるまわる

カゲ 復讐すれば、すっきりする。

エゴ やってやる。

セケン 熱くなるな。

カゲ さあ、どっつする。

セケン 復讐の後、何が手に入る。

カゲ 復讐は快感だ

ヒカリ 復讐は何もうまない。

静かに耳をふさいでいたヒカリ大きな声で叫ぶ

ヒカリ それは。したいこと？

エゴ。我にかえる。

エゴ したいこと？

カゲ やれるかってこと？

セケン できないだろ。

カゲ できないか。

エゴ、セケンに向かってどなる。

エゴ どうせ、できない。

カゲ できない。できない。

エゴ 努力はしてきたんだ。

カゲ 怒れ。

セケン 腹がたつか。

カゲ 怒りですべてぶっ壊せ

セケン 怒りをどこに向けている

カゲ そのエネルギーで敵を倒せ

セケン 怒りの矛先を他人にむけるんじゃない。

エゴ 何もできない自分に腹が立つ

カゲ 自分に腹が立つ？

セケン だれだってお前に腹がたってる。

エゴ 我慢できない。

ヒカリ、エゴの傍による

ヒカリ 怒りのエネルギーはあるんだ。

エゴ どこにむけていいかわからない。

カゲ、すかさず、エゴにいう。

カゲ 結局、怒りをどこにも向けられないんだ。

エゴ こんなことになるなんて。

カゲ 失望して当然だ。

セケン 期待するから、失望するんだ。

カゲ もう、これ以上なにもしなくていいぞ。

セケンにむかってエゴが詰め寄る

エゴ なぜ、ボクばかりがこんな目にあうんだ。

カゲ 自分のせいじゃない。

エゴ 誰のせいなんだ？

セケン 誰かのせいにしても何も解決しない。

エゴ じゃあ、自分のせい？

カゲ 弱いからじゃないか

エゴ 自分ばかりせめられる。

カゲ 仕方ない。

セケン 非難される時は必ず来る。

カゲ 非難なんて無視すればいい

舞台真ん中後方に下がっていたヒカリ舞台中央まで踊りでる。

ヒカリ チャーンズ！

エゴ チャンス？

カゲ、セケンの後ろからヒカリをにらむ

ヒカリ 非難されるも、するも辛い。

エゴ どうしたらいい？

ヒカリ 非難された自分。した自分。

エゴ 両方とも自分だ。

ヒカリ、嬉しそうにエゴをひじでつつく。

ヒカリ 少し、前進。

エゴ、ヒカリの服の裾を掴む。

エゴ これで、いいのかな？

カゲ、嬉しそうにエゴの肩を抱く

カゲ 心配になってきたな。

エゴ 間違ってたら、どうしよう？

カゲ 失敗するかもしれない。

エゴ 失敗？

カゲ 失敗した時のことをよく考えておけ。

エゴ うまくいかないかもしれない。

カゲ そうだ。やめた方がいい。

セケンうしろに下がっていく

セケン、舞台中央から客席に向かって。

セケン 心配している時間は無駄だ。(後ろ向きから急にふりかえって客席を指さす)

ヒカリ、セケンの横に立つ。

ヒカリ 先のことを心配してる。

セケン 心配も必要だ。

ヒカリ 先をみてる。

セケン 心配しすぎて動けなくなるな。

カゲ 動けなくなる。

ヒカリ、エゴの頭をぐっと正面に向ける。

ヒカリ 前向きならいい。

カゲ こう、固まっちゃうんだぞ。

ヒカリ 顔、前向かせて。

カゲ どっち向いて固まるかわかんないだろ。

ヒカリ 前、向けるでしょ。

カゲ 固いんだって。

ヒカリ 動くでしょ。

カゲ、ヒカリ、エゴの頭を正面、横と、引っ張りあう。

セケン、カゲとヒカリを両脇にどかす。

セケン 動けないのは疑っている証拠だ。

カゲ 失敗は避いの元だ。

セケン 疑うのか？この先を？

エゴ、両腕を組み頭をひねる。

エゴ ほんとうに、これでいいのか？

カゲ 疑うのは当然だ。

エゴ この方向であってるのか？

カゲ 正しい方向なんてないかもしれない。

セケン 疑っていると何も進まない。

カゲ 疑い続ける。自分を守るんだ。

ヒカリ、舞台後ろから大きな声をだしながら舞台中央に走りでる。

ヒカリ 「疑う」の反対は、なーんだ？

セケン、エゴ、カゲお互い顔を見合わせる。

カゲ、セケン、エゴ(同時に) 信じる！（客席に向かって）

カゲ、セケン、エゴ顔を見合わせる。

ヒカリ 思い出した？

カゲ 自分の行く道を信じると？

ヒカリ 他に何を信じる？

カゲ 信じるとあとがやっかいだ。

ヒカリ やっかいって？

エゴ、左右に歩き回る

エゴ やっぱり、無理だったんだ。

カゲ、エゴを指して、ヒカリを肩でどつく。

カゲ ほらあ。

ヒカリ 落ち込み、はやっ。

エゴ 無理だと思ってた。

カゲ 落胆するのは当然だ。

エゴ こんなことになるなんて。

カゲ 期待なんてしない方がいいんだ。

エゴ がっかりした。

セケン 結果が全てだ。

エゴ 全てが無駄だったんだ。

カゲ 無力感でいっぱいだ。

ヒカリ 無力も無駄もいい。

カゲ そうだ。あたって碎けた。

ヒカリ つまり、やってみたってことだよね。

カゲ、セケン、エゴ(同時に) 何?!

ヒカリ やってみたんだよ。

カゲ、セケン、エゴ(同時に) だから、何?!

ヒカリ 何か気づいたことあるんじゃない。

ヒカリ、下手端にはしっていく。

ヒカリ やってみる方を選んだんだよね。

カゲ 選んだ。は選んだ。

ヒカリ 「選ぶ」に気が付いた。

カゲ どっちを選んでも結局おなじだ。

エゴ どっちを選んでいいか、まったくわからない。

カゲ 迷うだけ時間の無駄だ。

セケン 迷っているうちに時間が過ぎていく。

エゴ 何を信じればいいのか分からなくなってきた。

カゲ もう、考えなくていい。

ヒカリ 迷ったら、考えなくていい。

カゲ 考えなくていい。

ヒカリ どっちを選んでも正解だから。

カゲ ?!

カゲ、ヒカリをカン見する。

エゴ でも、うまくいかないんだ。

カゲ うまくいくはずなかった。

エゴ いらいらする。

カゲ イライラするのは当然だ。

エゴ もう、耐えられない。

カゲ すべてぶち壊せ

エゴ 最悪だ。

カゲ もっとぶつけれ。ストレス解消だ。

エゴ なんでこんなことに？

セケン、エゴとカゲに向かって

セケン 冷静になれ。

ヒカリ、舞台真ん中で

x

ヒカリ

はい。息を大きく吸って。

吐いてえ。

エゴ、セケン、ヒカリに合わせて深呼吸する。

ヒカリ

大きく息を吸ってえ。

吐いてえ。

カゲも他の三人にあわせて深呼吸する。

ヒカリ

大きく息を吸ってえ。

吐いてえ。

四人、横一列で深呼吸する。

ヒカリ

いらだってきたら、深呼吸。

セケン、カゲ、エゴ嬉しそうに首を回したり、手足をぶらぶらさせる。
カゲ、はっとする。

カゲ

いらだちがおさまっても結果はかわんない。

セケン

世の中は結果が全てだ。

エゴ

いい結果なんて出る気がしない。

カゲ

世の中うまくいくわけない。

エゴ 先がみえない。

カゲ 頑張るだけむだだ。

エゴ どうしていいかわからない。

セケン 悲観しても何も始まらない。

カゲ あきらめろ。じっとしている。

あわてて、落ち込んでいく三人を見るヒカリ。

舞台後ろが光る。(もしくは、扉の枠でてくる)

カゲ 死の扉。

セケン あちら側にないくのはまだ早いぞ。

カゲ 開くのか。

セケン 絶望の中に真実がある。

カゲ 真実は常にひとつ！

ヒカリ そんなわけない。

カゲ じっちゃんの名に懸けて。

セケン 誰の決めゼリフだ？

ヒカリ 急に、アニメからひっぱってくんな……！！

ヒカリ、カゲをどつく。倒れるカゲ。

カゲ、舞台に膝をつきながらエゴに語りかける。

カゲ 行こう。扉の向こうへ。

ヒカリ ダメだ。

エゴ えっ。

急に舞台後方の光が強くなる。

ヒカリ、舞台後方の光からエゴ守るように覆いかぶさる。

舞台の後ろの光、無くなる。(もしくは、扉の枠なくなる)

太鼓の音

ドン

暗転

ヒカリの声 時はきていない。

カゲの声 来てました！

ヒカリの声 きてません！

カゲの声 あきらめれば楽になれたのに。

舞台明るくなる。

エゴ、舞台、真ん中にしゃがみこんでいる。

カゲ、ヒカリ下手に登場。エゴを舞台袖から見守る。

ヒカリ 危なかった。

カゲ 危なかったな。

ヒカリ あっち行こうとしてたくせに。

セケン、上手から登場。エゴの側に立つ。

セケン 何もしないヤツに未来はない。

カゲ セケンは何言っても許されるんだな。

ヒカリ 言ってるだけだから。

カゲ セケンは勝手だ。

カゲ 舞台中央エゴの横に座る

ヒカリ 舞台中央カゲの反対側にエゴに寄りかかって座る。

ヒカリ セケンのいうことなんて気にしなくていい。

カゲ もう、何もする必要はない。

エゴ することがみつからない。

ヒカリ 焦らなくていい。

沈黙して宙を見る三人。

鳥のさえずり

波の音

少し時間が経つ。

セケン じっとしているのも退屈だろう。

ヒカリ そんなことないよ。

カゲ 眠っちゃうよ。(眠そうに舟をこいでいる)

ヒカリ ねるな。

エゴ 確かにつまらない。

カゲ 退屈は安定してる、ってことだ。

エゴ いいのかな。このままで。

カゲ いいんだよ。

ヒカリ 寝ただけだな。

エゴ じっとしてるのにも、飽きてきた。

カゲ 新しい刺激なんかいらぬ。

エゴ 何か、したい。

ヒカリ 新しい挑ヒカリ ああ戦？冒険？

セケン 新しい何かを始めるべきだ。

カゲ いや、このままでいい。

エゴ このままでいい？

セケン、ここぞとばかりに舞台中央に出る。

セケン 満足できる結果は出したのか？

カゲ 満足なんて一時的なものだ。

セケン 満足したら成長は止まる。

カゲ 満足してもすぐ不満は出てくる。

セケン 満足は危険だ。次を考えろ。

エゴ 満足？

ヒカリ 満足感、大切だ。

エゴ ここまで、こられた。

カゲ、セケン 満足？

エゴ いい感じた。

ヒカリ、エゴの胸をさす。

ヒカリ ここにはある。

カゲ 何が？

ヒカリ 希望だ。

カゲ 希望なんて幻想だ。

エゴ あるんだ。希望。

カゲ 期待するだけ無駄だ。

エゴ 何か変わるかもしれない。

カゲ 失望に逆戻りするだけだ。

セケン 回りの求めに応じなければ価値はない。

ヒカリ 希望は自分のもの。

セケン 希望にすぎるな。危険だ。

カゲ そうだ。危険だ。

エゴ ここにはある。

ヒカリ 手を伸ばす勇気の先に希望はある。

エゴ セケンに向かって明るい声で話しかえる。

エゴ 大丈夫な気がしてきた。

カゲ 期待しすぎるな。

エゴ うまくいく気がするんだ。

カゲ 楽観的過ぎると痛い目にあうぞ。

ヒカリ 前向きな気持ち。

セケン 楽観は危険だ。

カゲ 現実を直視しろ。

セケン 現実にうちのめされるぞ。

カゲ 痛い目を見るぞ

ヒカリ 全てうまくいくとは限らないけど。

カゲ そうだろ。限らない。

ヒカリ 恐れずにいこう。

カゲ 明日は怖いぞ。

ヒカリ 明日は明るい。

エゴ そうか。明日はあるんだ。

エゴ 力強く一歩前にでる。

エゴ 信じてるんだ。

セケン 何を？

エゴ 明日は必ずあるって。

セケン あたりまえだ。

ヒカリ 信念だ！

カゲ 信念？

セケン 信念をもつことはいい。

カゲ 信念なんて重いだけだ。

セケン だが、信念だけでは何も成し遂げられない

カゲ ただ頑固なだけだ。

ヒカリ 信念は導いてくれる。あとは。

セケン 熱意はあるか？

エゴ、舞台中央から一歩さがり舞台上をぐるぐる走り回る。往復する。

カゲ、ヒカリ、行ったり来たりするエゴを頭で追う。

カゲ 熱意に任せて突っ走ると後悔するぞ。

エゴ 絶対、やり遂げるんだ。

カゲ 熱くなりすぎて息切れしてる。

エゴ 何も恐れずに進める。

カゲ 熱意は持続するの？

ヒカリ 熱意さえあればなんでもできる。

ヒカリ、エゴと一緒に走り始める。

エゴ なんでもできる気がする。

セケン 熱意だけでは生き残れないぞ。

エゴ この気持ちは止められない。

ヒカリ その熱さは情熱だ。

カゲ 情熱？

カゲ、エゴ、ヒカリに交じって走りだす。

ヒカリ 情熱をかたむける。

エゴ 何でも乗り越えられる気がする。

ヒカリ 情熱は原動力だ。

エゴ ここまで来た。

カゲ 油断するな。

エゴ ここまで来た。

セケン、頭で走る三人を追っていたが、ついに一緒に走り出す。

セケン 巻き込まれた。

ヒカリ 自分を信じたから。

エゴ 信じてよかったと思える。

ヒカリ 最高だね。

カゲ 浮かれてるなよ。

セケン 準備を怠るな。

ヒカリ よくがんばった！

エゴ こんなにうれしいなんて。

ヒカリ この喜びを忘れないように。

エゴ、急に立ち止まる。あわてて立ち止まるセケン、カゲ、ヒカリ。

エゴ、少し考えて他の三人をまじまじとみる。

28

エゴ、セケンに握手を求める。

エゴ 今まで、見守ってくれてありがとう。

セケン、カゲとヒカリを見ながら握手に応じる。エゴ、握手に手を重ねる。

セケン、次にカゲの肩を抱く。

エゴ 感謝してる。ありがとう。

カゲ、啞然としながら、泣き始める。

エゴ、カゲの背中を軽くたたき、ヒカリとむきあう。

エゴ ありがとう。大好きだ。

エゴ、ヒカリと抱擁しあう。エゴ、満面の笑みで舞台中央。
他の三人を見回したあと、舞台正面をみる。

エゴ つじや。行きます！（正面空に手を挙げ指をさす）

暗転

声 心臓は動いている。

心は動いている

一瞬は永遠だ。

いつも。ここから。

舞台暗転に太鼓の音

ドン

舞台明るくなる。舞台中央に出演者全員が隊を組んで前向きでいる。

ドン

出演者全員それぞれの決めポーズ。

ドン

暗転

(完)